第２回栃木県立黒羽高等学校　学校運営協議会　議事録

日時　令和４年８月２３日（火）１３：３０～１５：００

場所　栃木県立黒羽高等学校　図書館

１．開会　　　　　　　　　　　教頭

２．学校長挨拶　　　　　　　　校長

３．学校運営協議会　会長挨拶　　会長

４．議事

（１）学校からの説明・意見交換

①　学習・生活実態調査結果

②　黒羽こころみ学習（前期）１学年

③　黒羽こころみ学習（前期）２学年

④　一日体験学習

⑤　部活動報告（黒羽太鼓部・相撲部）

⑥　学校の魅力・特色化について

・校長より（１・２学年進路ガイダンス【業種説明会】・通級指導について）

・教頭より（スクールミッション策定について）

【上記への意見・質問事項】

⑤（会長）相撲部を継続できる可能性についてはどう考えているか。

→　主に若草中学校で教えていることもあり、そのつながりがあって続けられている。

（会長）黒羽太鼓部をぜひ継続できるよう応援してもらいたい。

→（１学年として）黒羽太鼓部は伝承館までいかないと練習できないことが影響していると思われる。そもそも部活動全体で活動が難しくなっている。かつて１年生は全員加入としていたが、帰宅の都合などの理由で保護者から理解を得られない現実がある。文化部加入者の比率が高く、運動部加入者が少ないことも課題になっている。部活動をより意欲的に取り組める環境を整えることが大切であると考える。

④（教頭）（一日体験学習の実施について）酷暑の中での一日体験学習の実施について、対面での実施によって伝えられるものがあると考え、体育館で実施した。模擬授業等も職員がよく考えて行ったことが感想にも表れていると思う。

【業種説明会について】

⑥（委員）（業種説明会の感想）このプロジェクトに参加できてうれしい。

地元の医療を担うことについての話をすることができた。将来のビジョンが見えている学生は伸びる傾向にあるため、このような説明会をぜひ継続し、将来への気概を高めていっていただきたい。

（ほか数名の委員も継続を希望）

【スクールポリシーについて】

○黒羽高校に期待することは何か

（委員）黒羽の地域について（歴史、社会）もっと知ってほしい。

→地域理解、進路実現、特別支援など、目指す教育目標が多様化している。学校では、その実現のための教育課程を編成し、教育活動を行っている。そのため、教育目標をより明確にし、地域のニーズに応えたかたちに絞り、どんな教科や科目を学ばせるのかをよく検討しなければならない。

（会長）本校の目指す姿は「地域に深くかかわる」ではないだろうか。

（委員）ふるさとを知ることは非常に大切なことであると、都会に暮らしたことがある自身の体験で実感している。

【その他】

（委員）通級指導について、（県に）人的支援をはじめとするバックアップをお願いしたい。それによって、本校の通級におけるポジションの確立に繋げられるようにしてほしい。医師として、多感な高校生の心のケアのため、心療内科等に繋げられるようなシステムの構築をお願いしたい。